

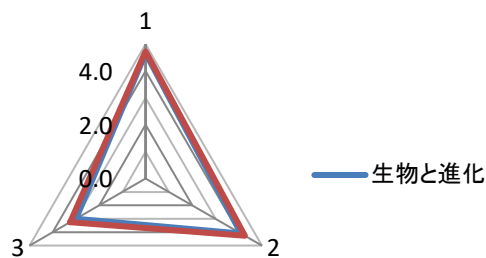
令和2年度第1学年前期「生物と進化」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
26	21	81%

実施日(2020年8月18日～20日)

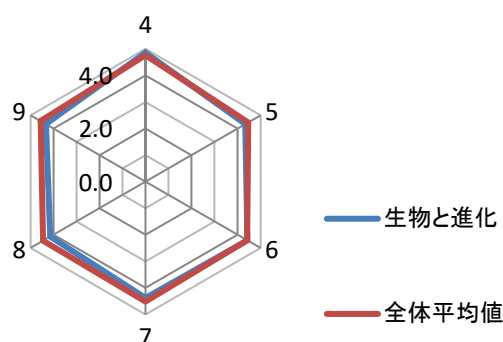
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生物と進化	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.0	3.2	1.5	4.5

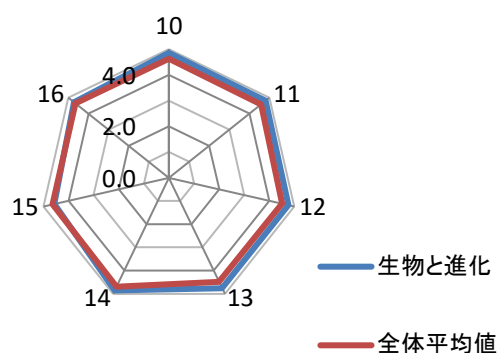
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生物と進化	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.4	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.1	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生物と進化	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.7	4.2	5.0

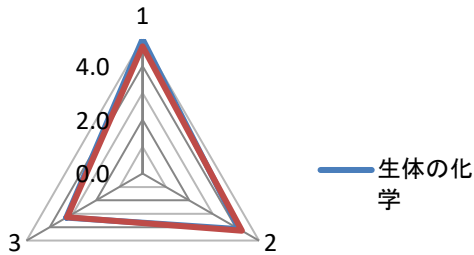
令和2年度第1学年前期「生体の化学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
7	7	100%

実施日(2020年8月13日～15日)

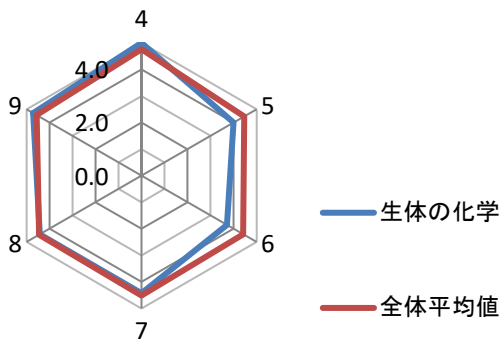
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生体の化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	3.2	1.5	4.5

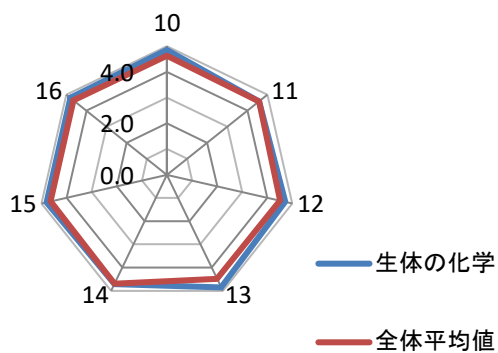
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生体の化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	3.7	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生体の化学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.2	5.0

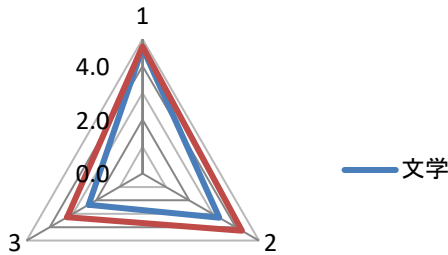
令和2年度第1学年前期「文学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
36	31	86%

実施日(2020年7月27日～29日)

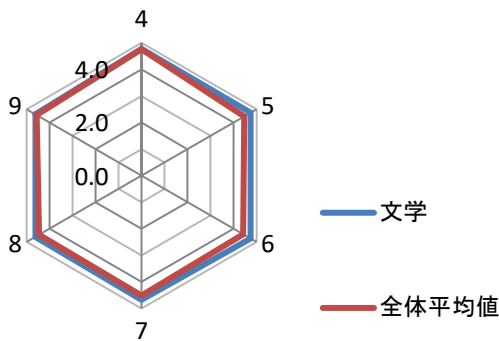
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	文学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.3	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	2.3	3.2	1.5	4.5

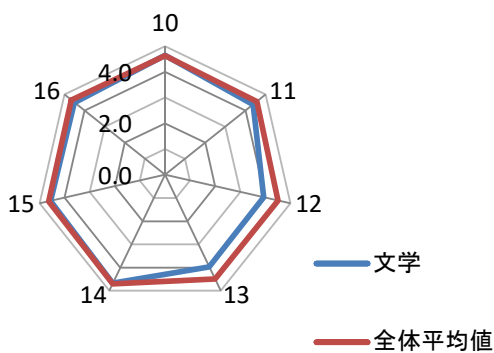
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	文学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.7	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

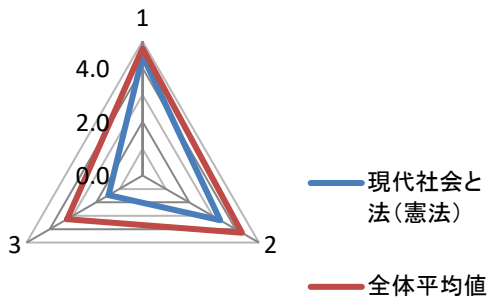
	文学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.0	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.7	4.2	5.0

令和2年度第1学年前期「現代社会と法(憲法)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	79	91%
実施日(2020年6月29日～7月1日)		

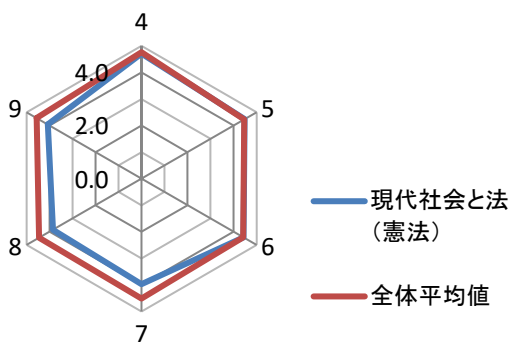
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	現代社会と法(憲法)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.3	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	1.5	3.2	1.5	4.5

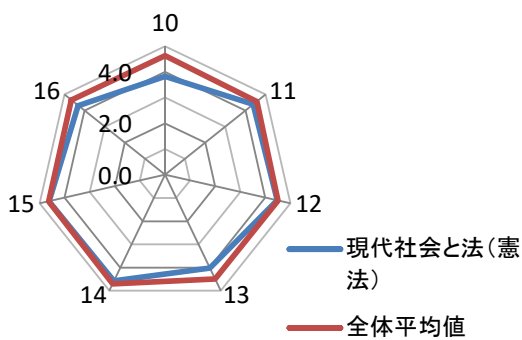
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	現代社会と法(憲法)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.4	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.0	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	3.8	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	現代社会と法(憲法)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.8	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.0	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.7	4.2	5.0

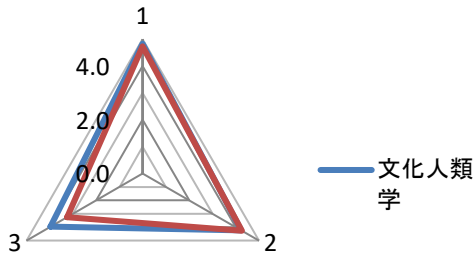
令和2年度第1学年前期「文化人類学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
34	30	88%

実施日(2020年8月14日～16日)

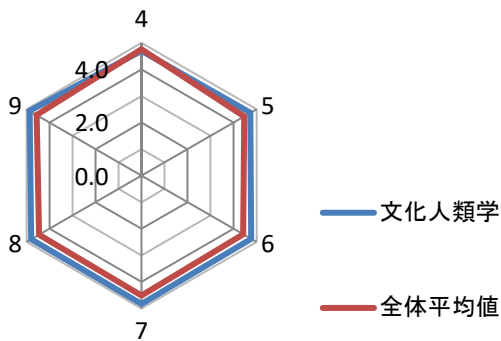
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	文化人類学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	4.0	3.2	1.5	4.5

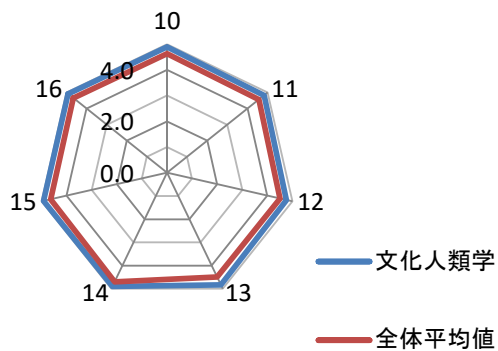
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	文化人類学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	文化人類学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.2	5.0

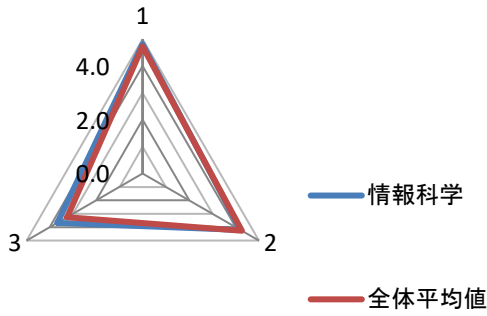
令和2年度第1学年前期「情報科学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	60	70%

実施日(2020年8月20日～22日)

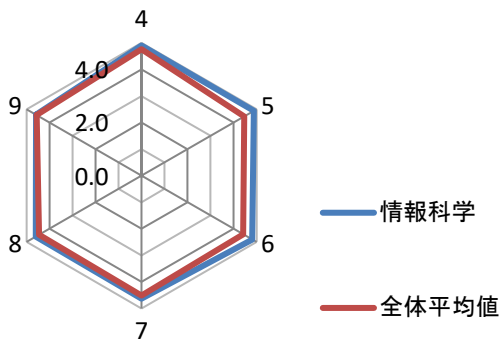
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	情報科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.2	1.5	4.5

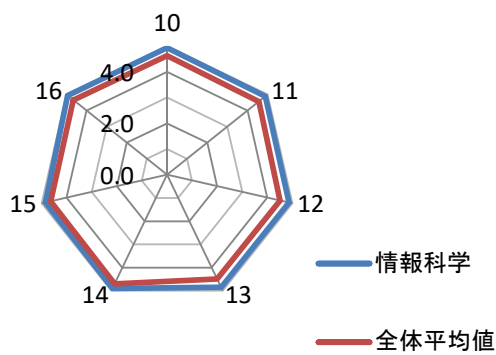
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	情報科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.8	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	情報科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.2	5.0

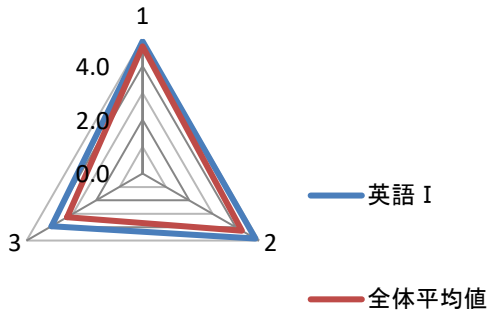
令和2年度第1学年前期「英語 I (野田クラス)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
32	25	78%

実施日(2020年8月13日～15日)

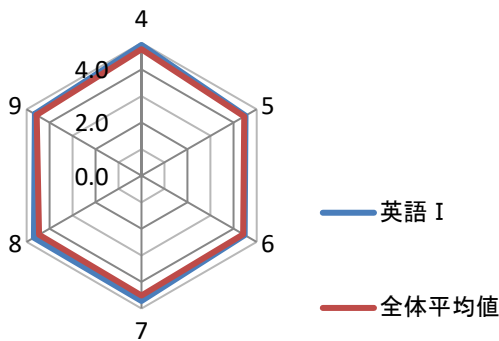
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.9	3.2	1.5	4.5

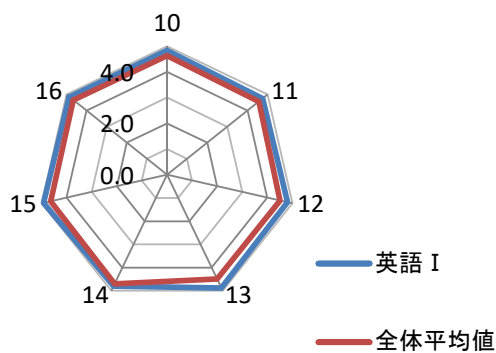
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.5	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.2	5.0

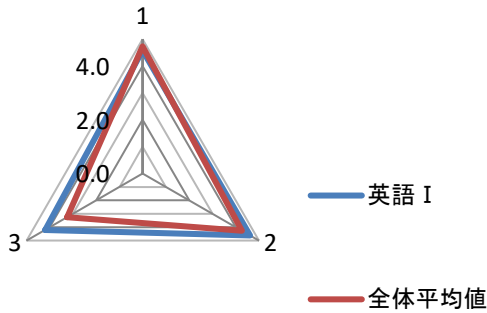
令和2年度第1学年前期「英語 I (及川クラス)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
31	31	100%

実施日(2020年8月13日～15日)

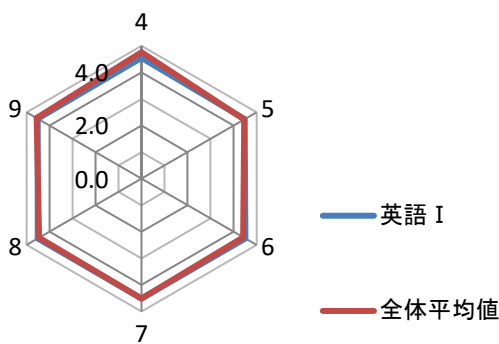
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	4.2	3.2	1.5	4.5

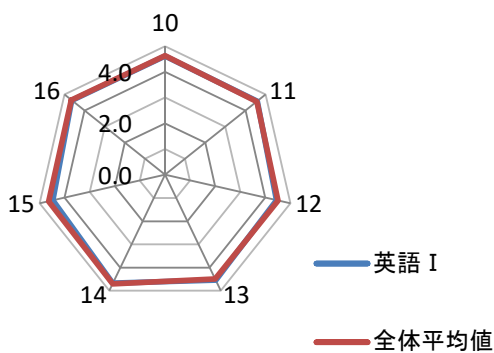
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.5	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.6	4.7	4.2	5.0

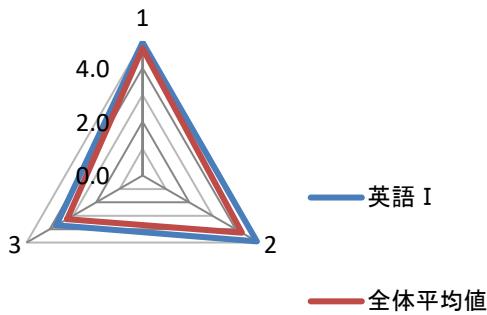
令和2年度第1学年前期「英語 I (横田クラス)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
27	21	78%

実施日(2020年8月13日～15日)

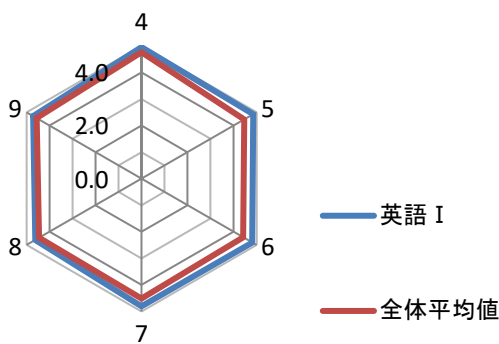
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	英語 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.9	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.7	3.2	1.5	4.5

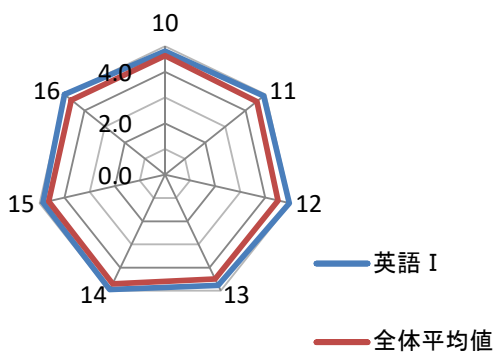
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	英語 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	英語 I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.7	4.2	5.0

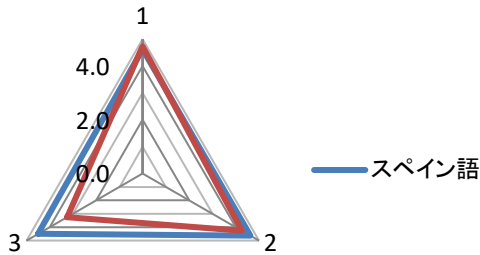
令和2年度第1学年前期「スペイン語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
8	8	100%

実施日(2020年8月18日～20日)

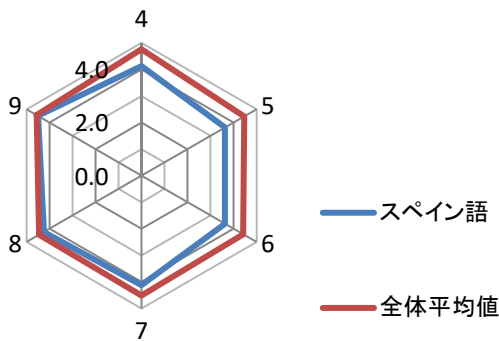
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	スペイン語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	3.2	1.5	4.5

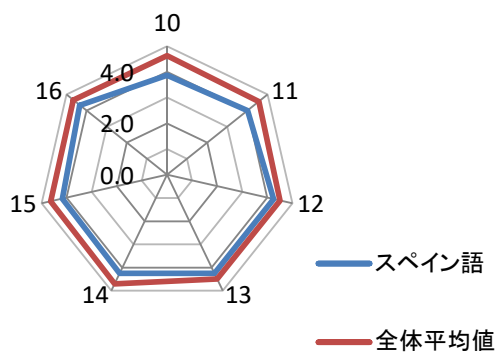
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	スペイン語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.1	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.6	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.6	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.1	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	スペイン語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.7	4.2	5.0

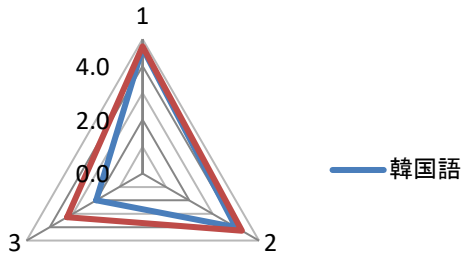
令和2年度第1学年前期「韓国語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
36	36	100%

実施日(2020年7月6日～8日)

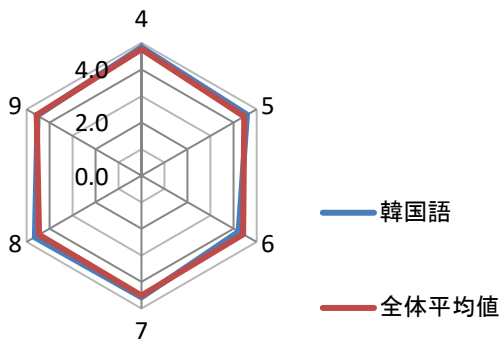
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	韓国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	2.0	3.2	1.5	4.5

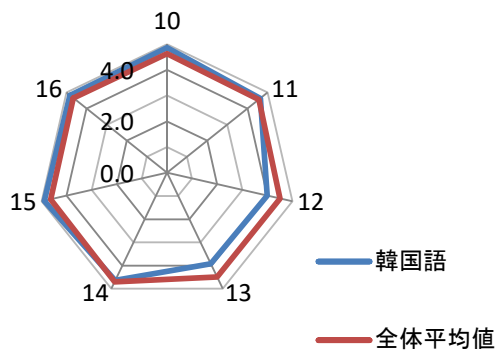
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	韓国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	韓国語	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	3.9	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.2	5.0

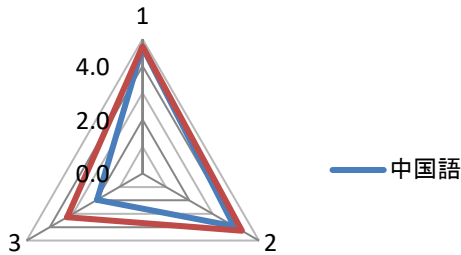
令和2年度第1学年前期「中国語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
28	27	96%

実施日(2020年8月7日～9日)

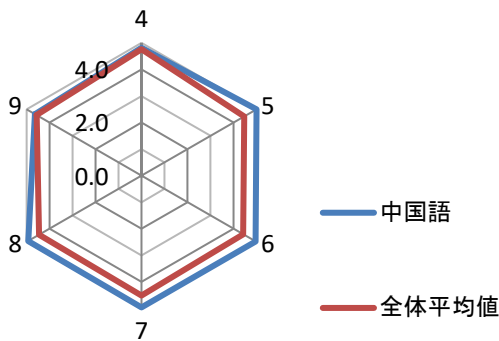
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	中国語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	2.0	3.2	1.5	4.5

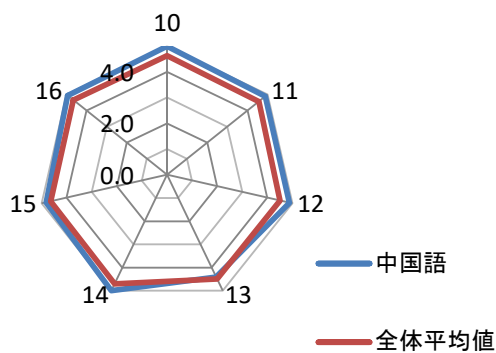
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	中国語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	5.0	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.9	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	中国語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.4	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.7	4.2	5.0

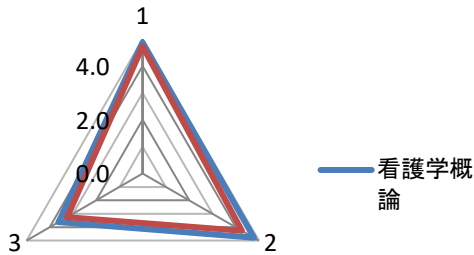
令和2年度第1学年前期「看護学概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	66	75%

実施日(2020年8月17日～19日)

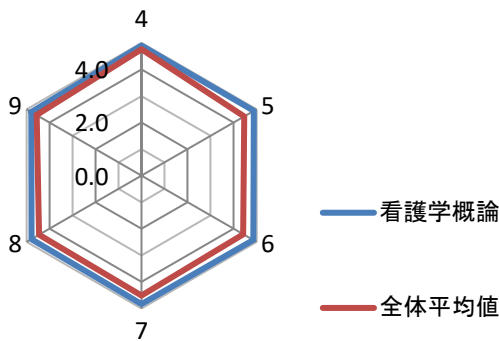
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護学概論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.6	3.2	1.5	4.5

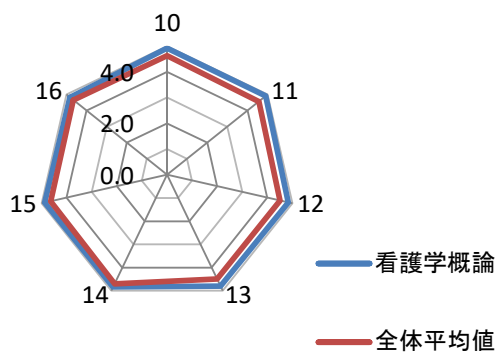
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護学概論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.9	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護学概論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.2	5.0

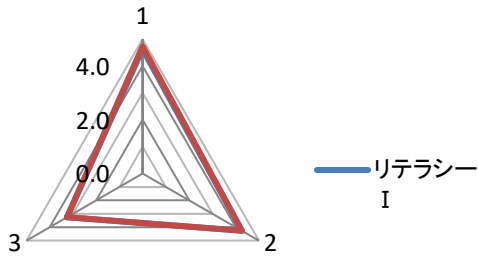
令和2年度第1学年前期「看護リテラシー I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
85	70	82%

実施日(2020年8月17日～19日)

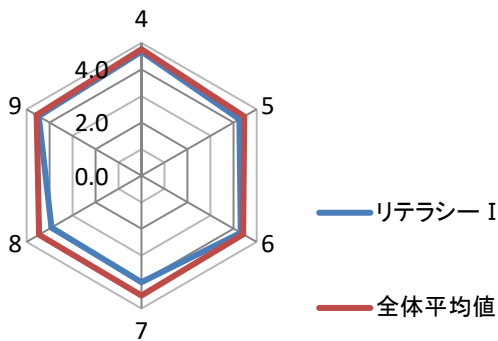
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	リテラシー I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した	4.6	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	3.2	1.5	4.5

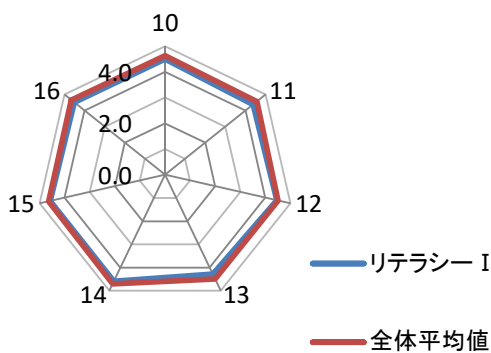
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	リテラシー I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.0	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	3.9	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.5	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	リテラシー I	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.4	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.7	4.2	5.0

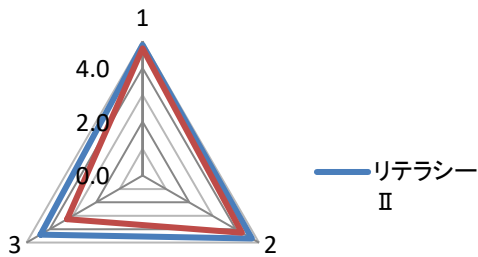
令和2年度第1学年前期「看護リテラシーⅡ」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	71	83%

実施日(2020年8月14日～16日)

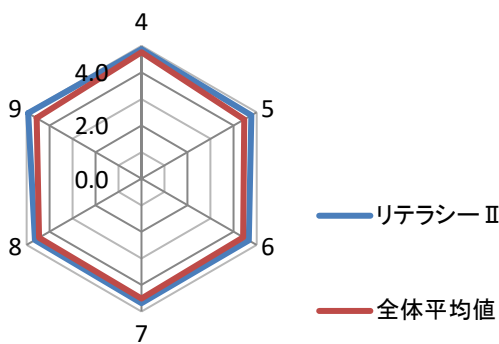
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	リテラシーⅡ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.7	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	3.2	1.5	4.5

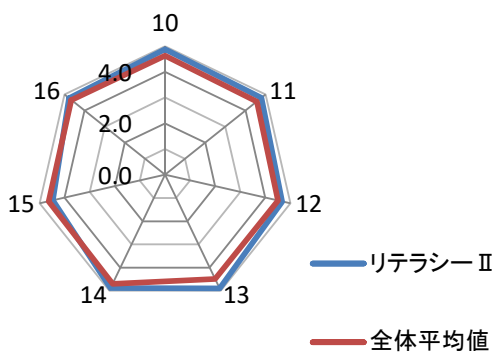
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	リテラシーⅡ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.7	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	リテラシーⅡ	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.9	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.7	4.2	5.0

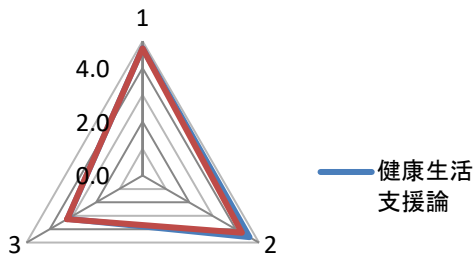
令和2年度第1学年前期「健康生活支援論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
90	73	81%

実施日(2020年8月14日～16日)

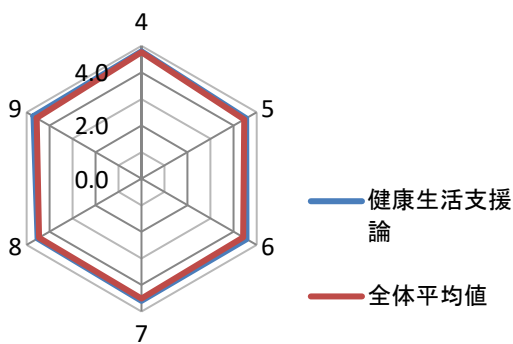
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	健康生活支援論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極に行った。	4.6	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.2	1.5	4.5

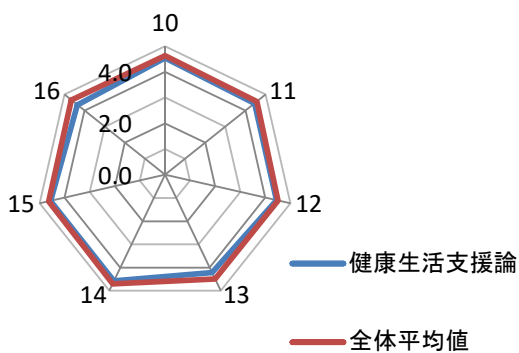
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	健康生活支援論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	健康生活支援論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.2	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.7	4.2	5.0

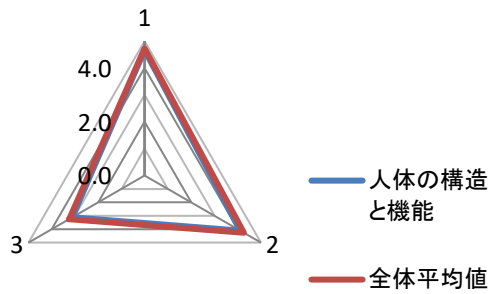
令和2年度第1学年前期「人体の構造と機能(前期)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	69	80%

実施日(2020年8月14日～16日)

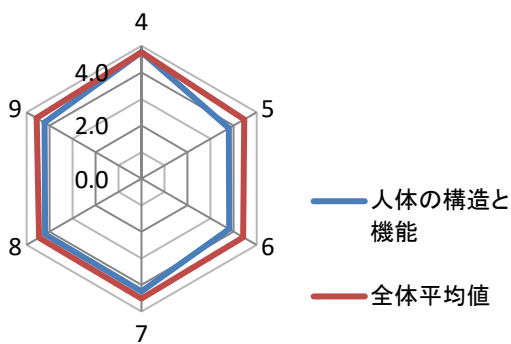
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	人体の構造と機能	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.2	1.5	4.5

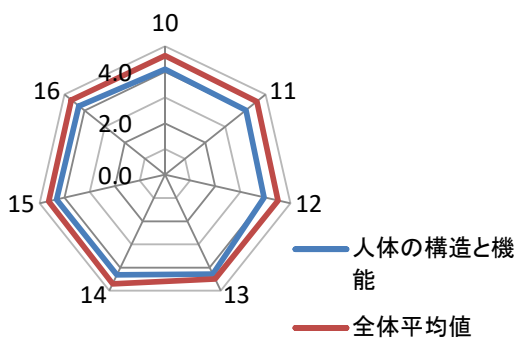
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	人体の構造と機能	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.8	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適切であった。	3.8	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	人体の構造と機能	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.1	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.0	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.3	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.3	4.7	4.2	5.0

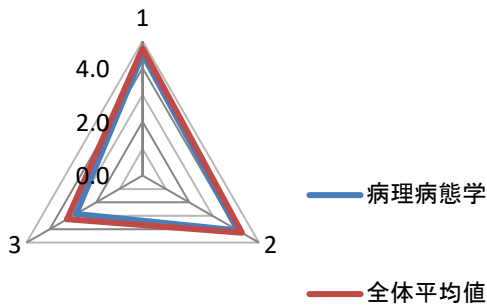
令和2年度第1学年前期「病理病態学(前期)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	70	80%

実施日(2020年8月12日～14日)

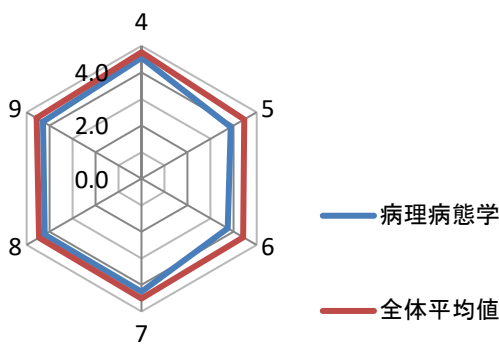
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	病理病態学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.7	4.5	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.3	3.3	4.9
3 教員に授業内容について質問した。	2.9	3.2	1.5	4.5

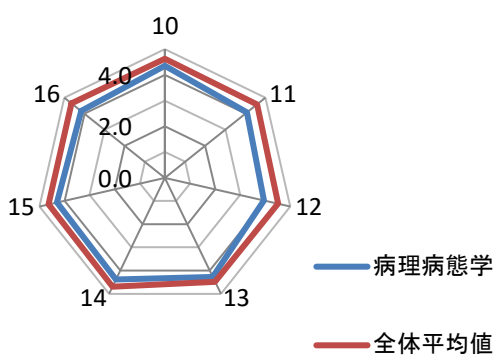
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	病理病態学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.8	4.1	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.5	3.6	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.7	4.4	3.6	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.5	4.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.5	3.8	4.9
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	4.1	4.9

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	病理病態学	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.6	3.8	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.1	4.6	4.0	4.9
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.5	3.9	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.5	3.9	4.9
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.7	4.3	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	4.2	4.9
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.2	4.7	4.2	5.0

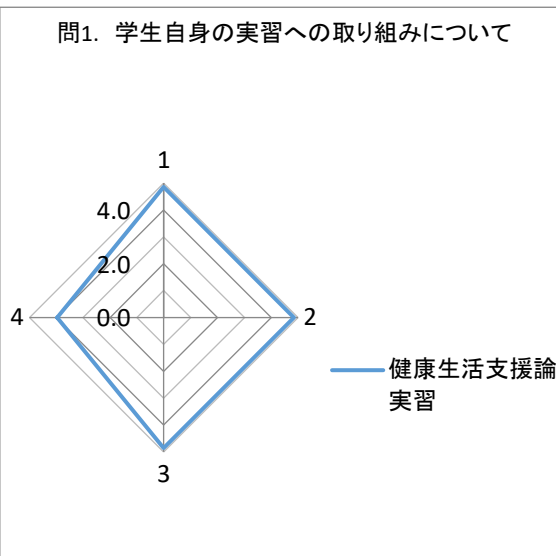
令和2年度第1学年前期「健康生活支援論実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	64	74%

実施日(2020年9月11日～20日)

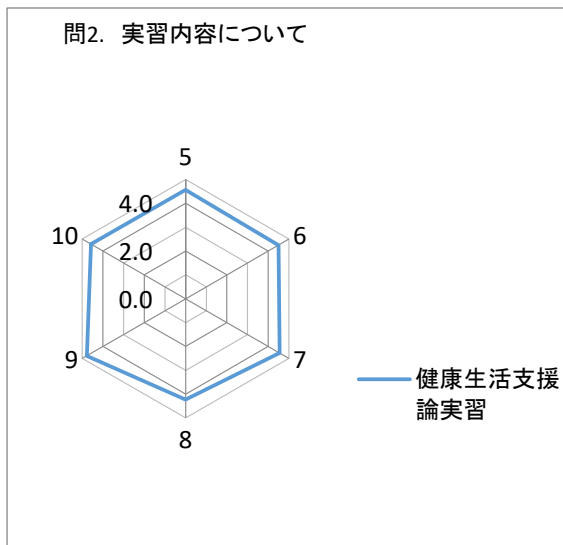
問1. 学生自身の実習への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	健康生活支援論実習
1 体調管理を行い、実習に臨んだ。	4.9
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	4.8
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.9
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.0

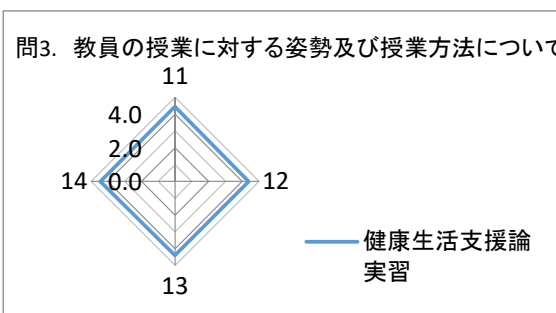
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	健康生活支援論実習
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	4.6
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.5
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.5
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	4.2
9 看護への興味や関心が高まった。	4.8
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた。	4.6

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 指導体制・学習環境について

	健康生活支援論実習
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った	4.5
12 教員と実習施設の連携が図られていた	4.4
13 実習に必要な資料や情報が入手できた	4.4
14 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した	4.5

問4 【学内シミュレーションを実施した場合】「学内シミュレーション」の活用について

15-1 教員は「学内シミュレーション」の円滑な進行に配慮していた	4.0
-----------------------------------	-----

問5 【オンライン(Zoomなど)を使用した場合】「オンライン(Zoomなど)」の活用について

16-1 教員は「オンライン(Zoomなど)」の円滑な進行に配慮していた	4.0
16-2 実習指導者からの「オンライン(Zoomなど)」による指導は学習を進めるうえで役立った	4.4

問6 【e自主自学を使用した場合】「e自主自学」の活用について

17-1 「e自主自学」は、学生に分かりやすく適切に活用されていた	4.5
-----------------------------------	-----

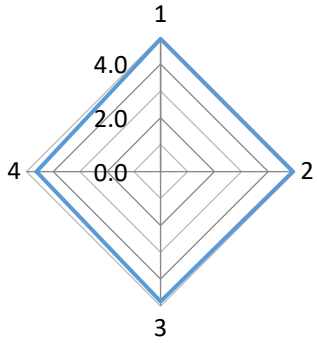
令和2年度第1学年前期「看護初期実習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	48	55%

実施日(2020年9月11日～20日)

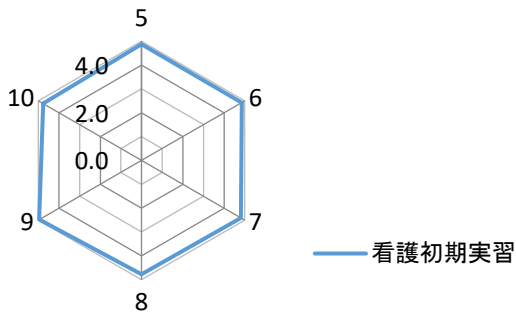
問1. 学生自身の実習への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護初期実習
1 体調管理を行い、実習に臨んだ。	4.9
2 シラバス・実習要項に沿って、実習に主体的に取り組んだ。	4.9
3 シラバス・実習要項に沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8
4 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.6

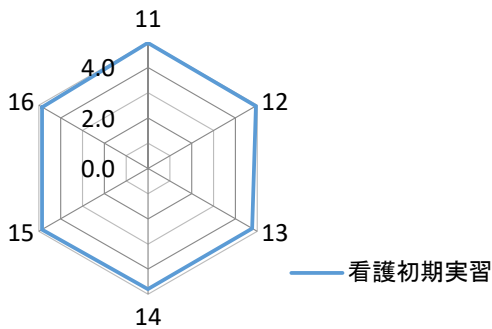
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護初期実習
5 学習目標を達成できるように実習が組み立てられていた。	4.9
6 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.9
7 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.8
8 課された実習記録や課題の量は適切であった。	4.8
9 看護への興味や関心が高まった。	5.0
10 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を習得できた。	4.8

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護初期実習
11 教員の助言は、学習を進める上で役立った	5.0
12 教員は、質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した	4.9
13 教員と実習施設の連携が図られていた	4.8
14 実習に必要な資料や情報が入手できた	4.8
15 学生が安全に実習するために、適切な指導と配慮がなされていた	4.9
16 カンファレンスや学習の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた	4.9

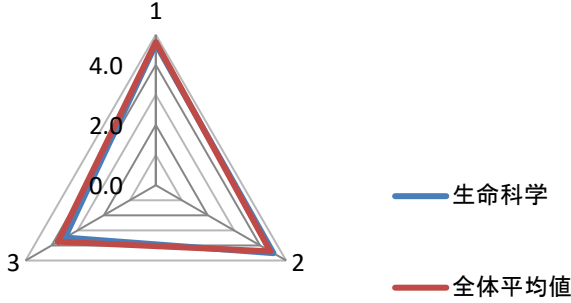
令和2年度第1学年後期「生命科学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	39	44%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

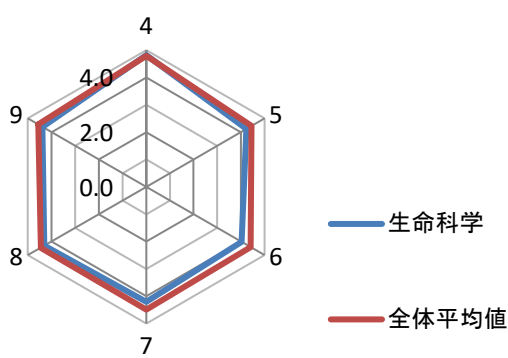
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生命科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.8	2.5	4.7

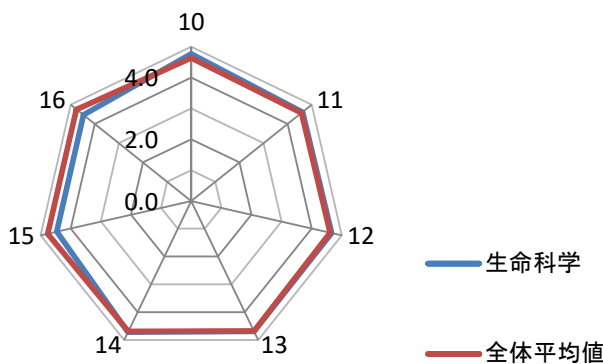
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生命科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生命科学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.5	4.8	3.9	5.0

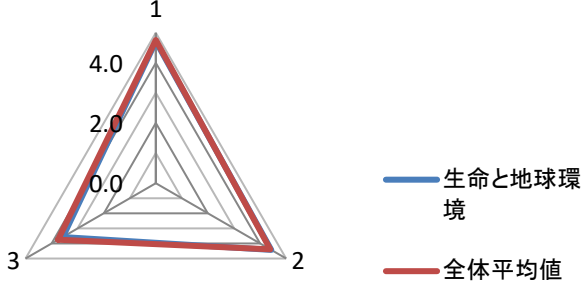
令和2年度第1学年後期「生命と地球環境」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
15	7	47%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

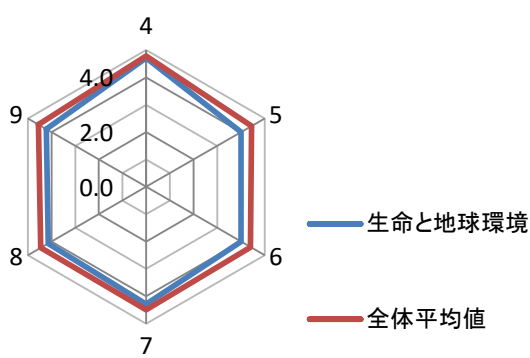
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生命と地球環境	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.6	3.8	2.5	4.7

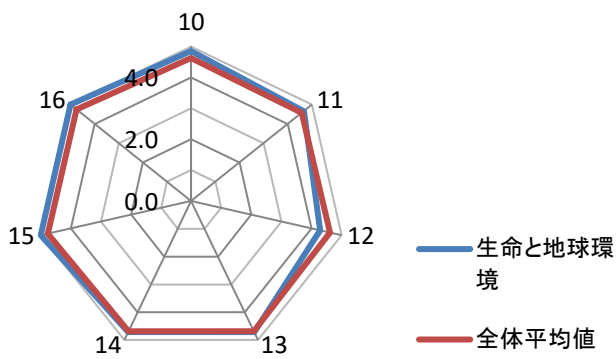
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生命と地球環境	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.0	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.1	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生命と地球環境	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	3.9	5.0

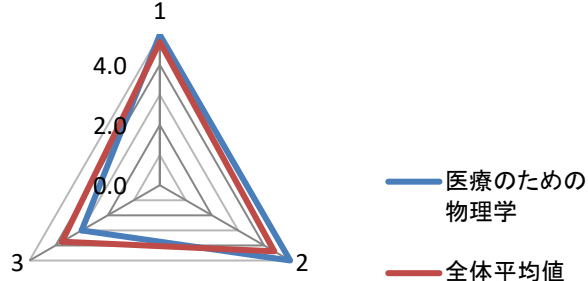
令和2年度第1学年後期「医療のための物理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
2	1	50%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

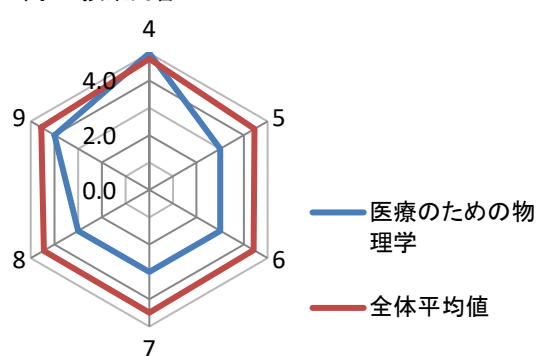
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	医療のための物理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	5.0	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.0	3.8	2.5	4.7

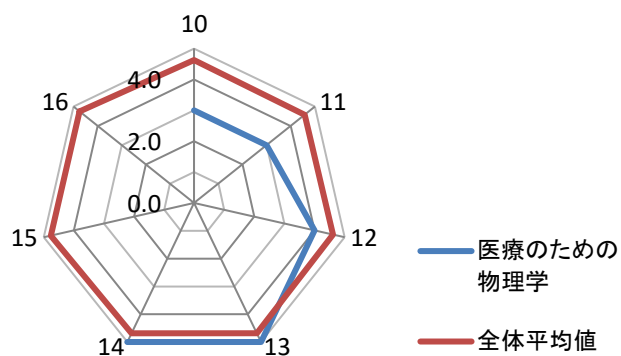
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	医療のための物理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.0	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.0	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.0	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	3.0	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.0	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	医療のための物理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	3.0	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.0	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。		4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。		4.8	3.9	5.0

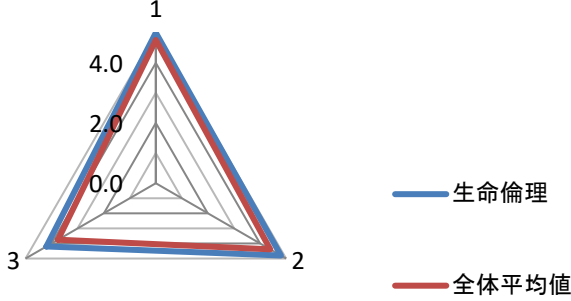
令和2年度第1学年後期「生命倫理」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
10	5	50%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

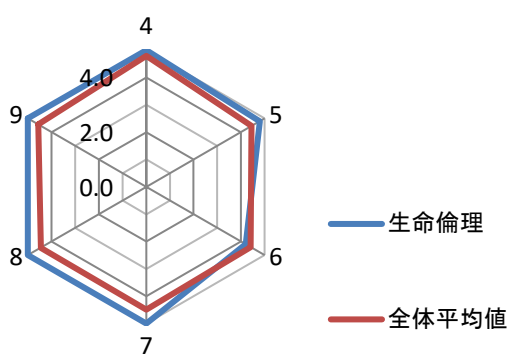
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	生命倫理	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	5.0	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.2	3.8	2.5	4.7

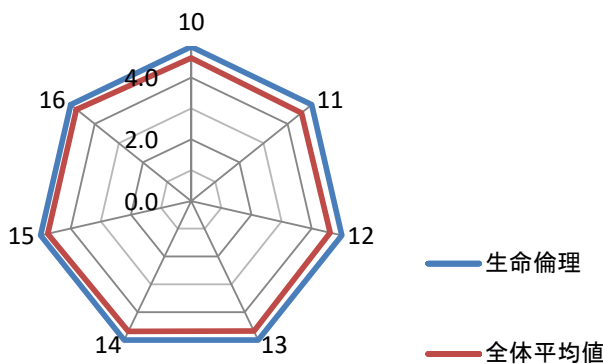
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	生命倫理	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.2	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	5.0	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	生命倫理	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	3.9	5.0

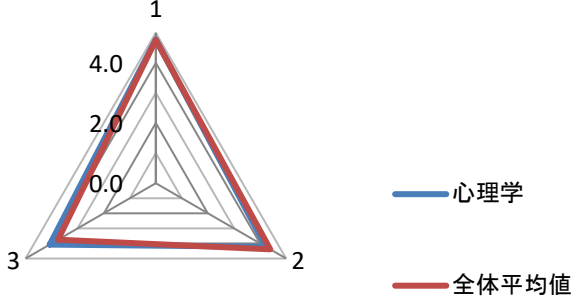
令和2年度第1学年後期「心理学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	41	48%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

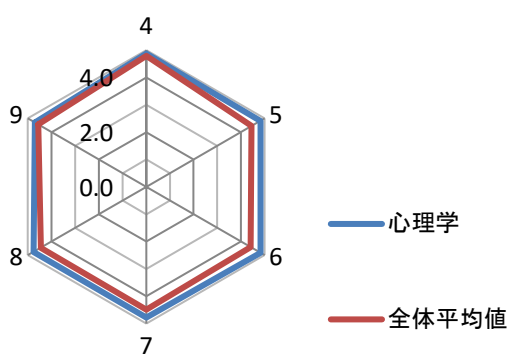
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.1	3.8	2.5	4.7

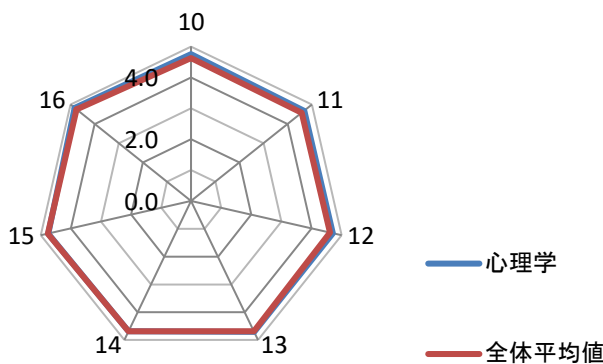
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	心理学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	3.9	5.0

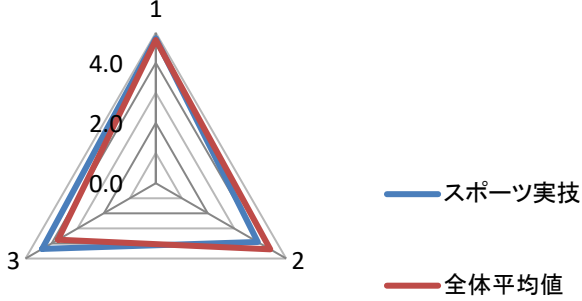
令和2年度第1学年後期「スポーツ実技」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
35	11	31%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

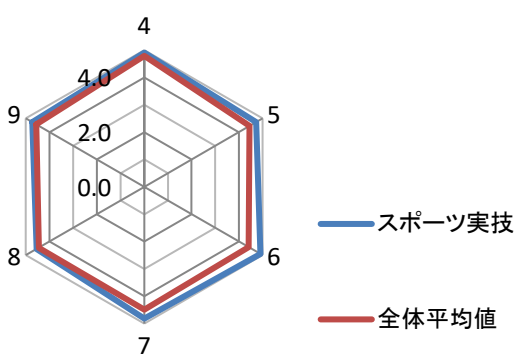
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	スポーツ実技	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.9	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	3.8	2.5	4.7

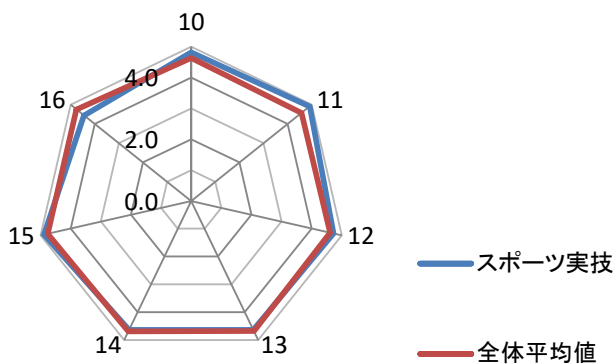
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	スポーツ実技	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	スポーツ実技	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.4	4.8	3.9	5.0

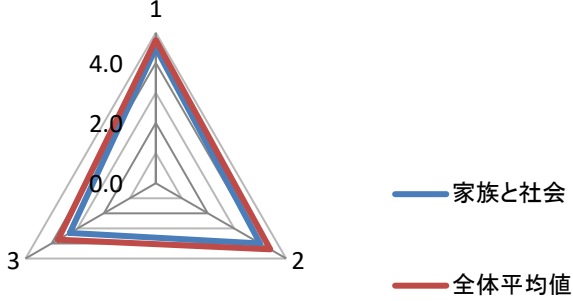
令和2年度第1学年後期「家族と社会」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
37	20	54%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

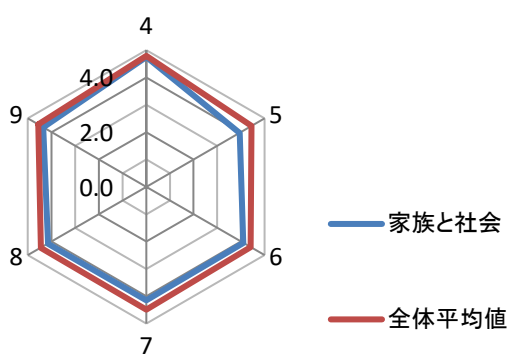
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	家族と社会	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.5	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.0	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.3	3.8	2.5	4.7

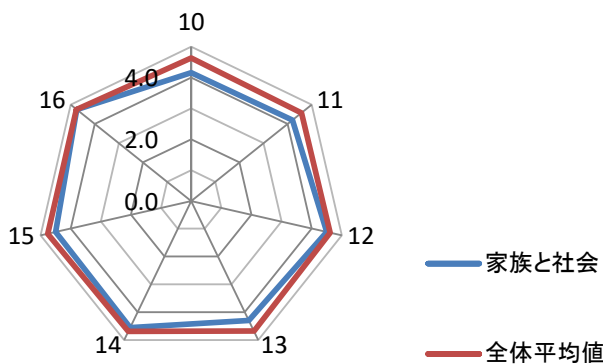
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	家族と社会	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.1	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	家族と社会	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.2	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.2	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.3	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	3.9	5.0

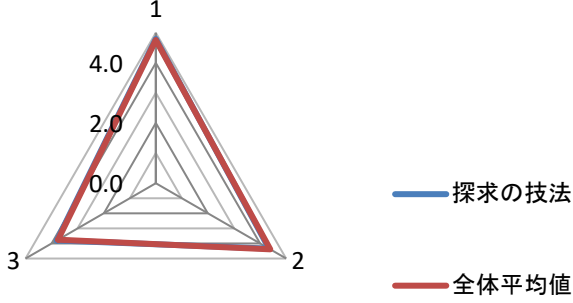
令和2年度第1学年後期「探求の技法」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	35	41%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

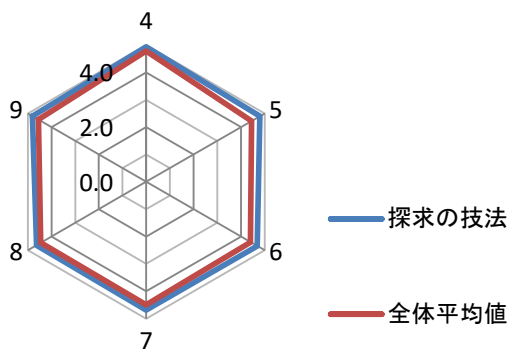
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	探求の技法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.8	3.8	2.5	4.7

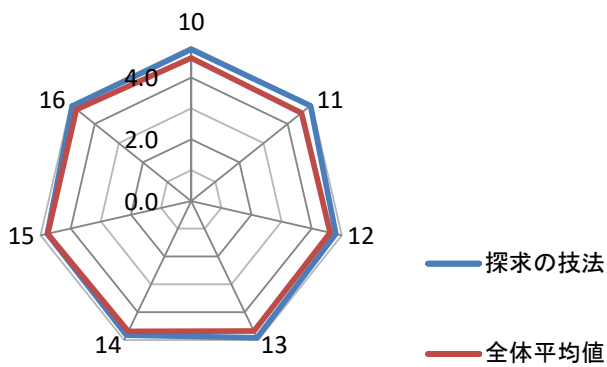
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	探求の技法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	探求の技法	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.9	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.8	3.9	5.0

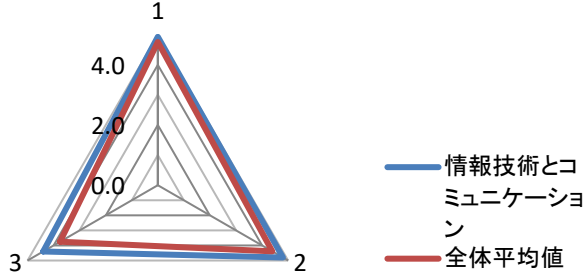
令和2年度第1学年後期「情報技術とコミュニケーション」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
50	15	30%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

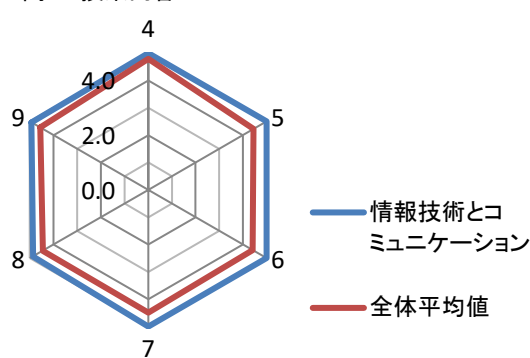
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	情報技術とコミュニケーション	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.4	3.8	2.5	4.7

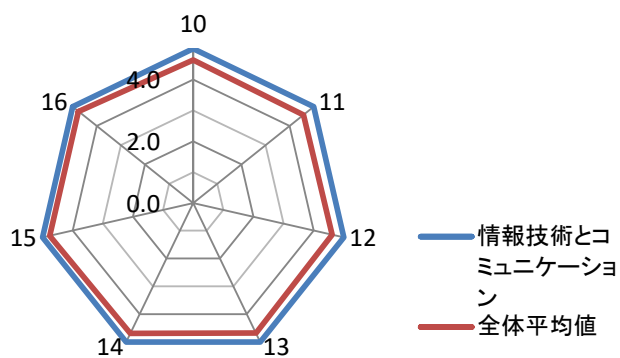
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	情報技術とコミュニケーション	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	5.0	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.9	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	情報技術とコミュニケーション	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	5.0	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	5.0	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	5.0	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	3.9	5.0

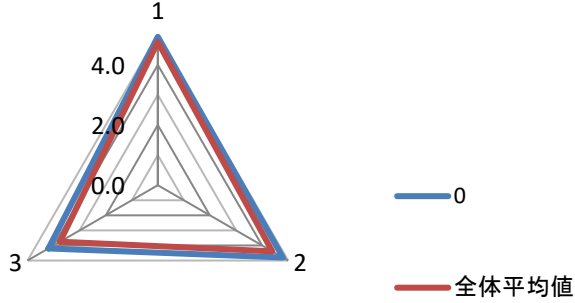
令和2年度第1学年後期「プレゼンテーションの技法」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
35	15	43%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

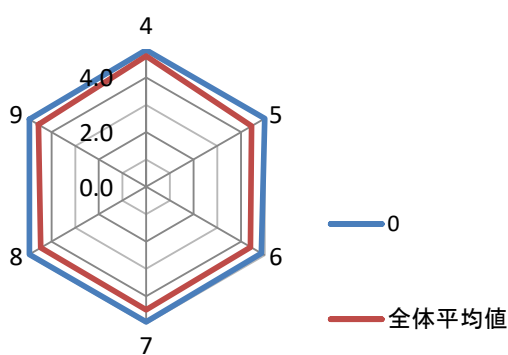
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	0	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.2	3.8	2.5	4.7

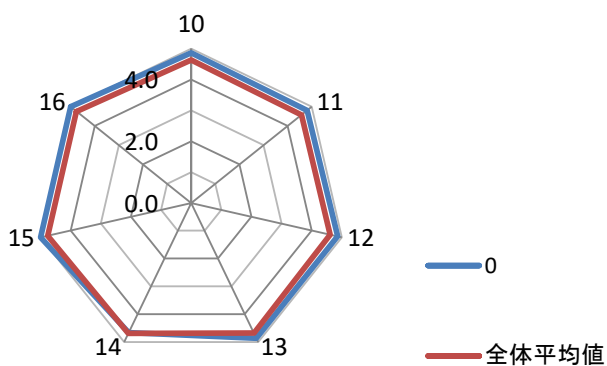
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	0	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	5.0	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	5.0	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.9	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.9	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	0	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.9	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.9	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	3.9	5.0

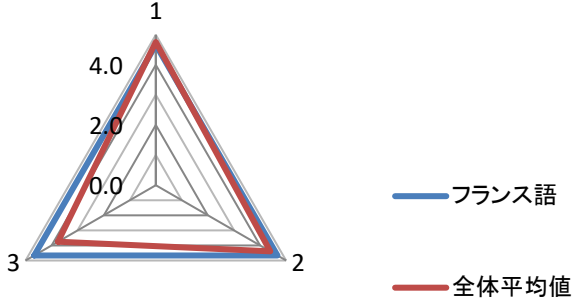
令和2年度第1学年後期「フランス語」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
4	3	75%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

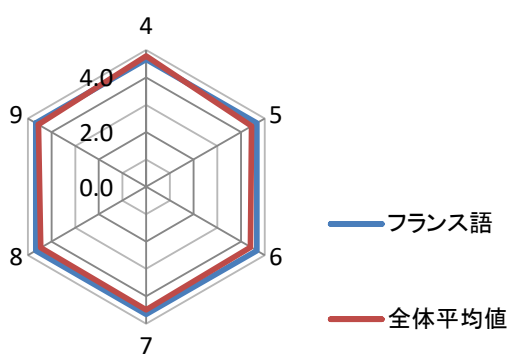
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	フランス語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.7	3.8	2.5	4.7

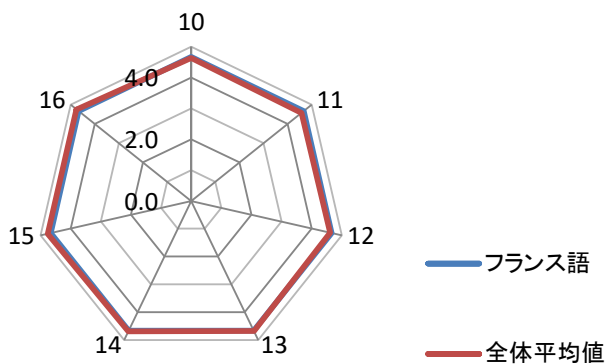
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	フランス語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	フランス語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	3.9	5.0

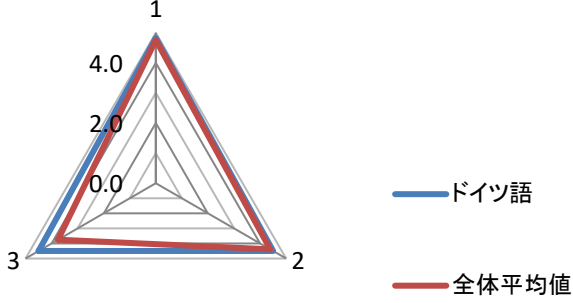
令和2年度第1学年後期「ドイツ語学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
9		6%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

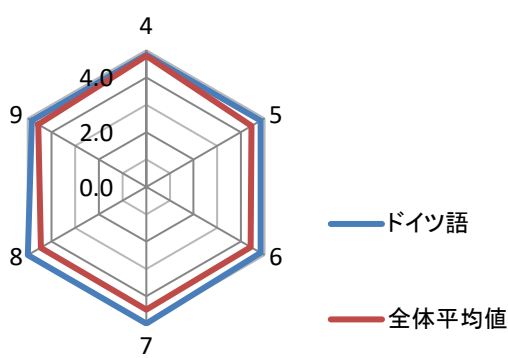
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	ドイツ語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.5	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.5	3.8	2.5	4.7

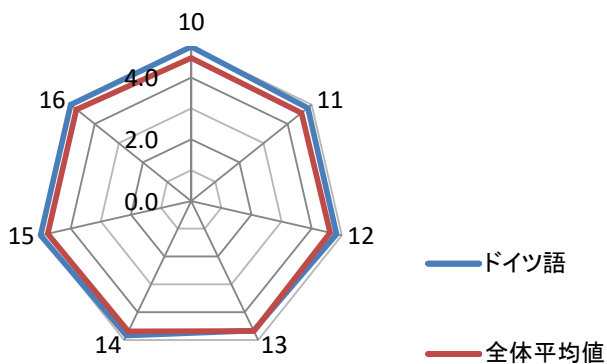
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	ドイツ語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.8	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	5.0	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	5.0	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	ドイツ語	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	5.0	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.7	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	5.0	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	5.0	4.8	3.9	5.0

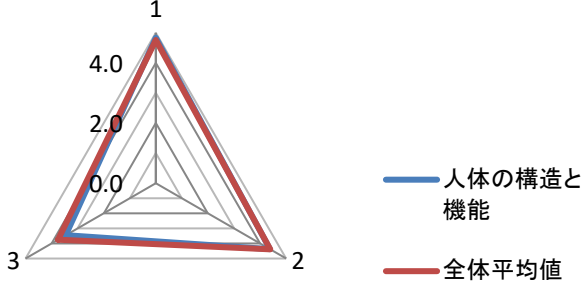
令和2年度第1学年通年「人体の構造と機能」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
87	37	43%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

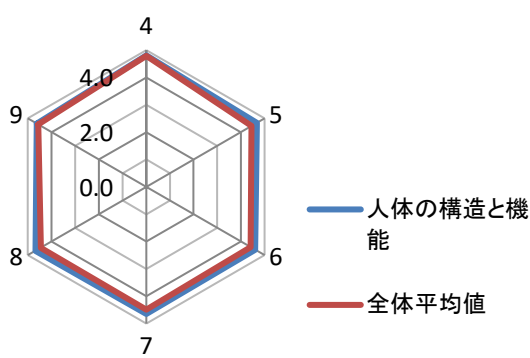
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	人体の構造と機能	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.4	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.8	2.5	4.7

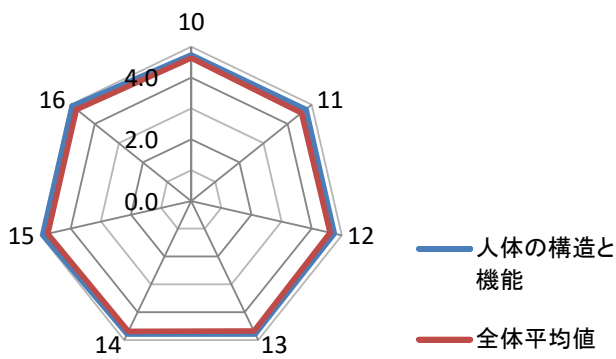
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	人体の構造と機能	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.6	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	人体の構造と機能	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.9	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.9	4.8	3.9	5.0

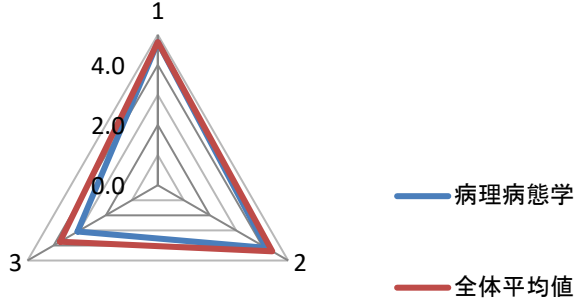
令和2年度第1学年通年「病理病態学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
89	37	42%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

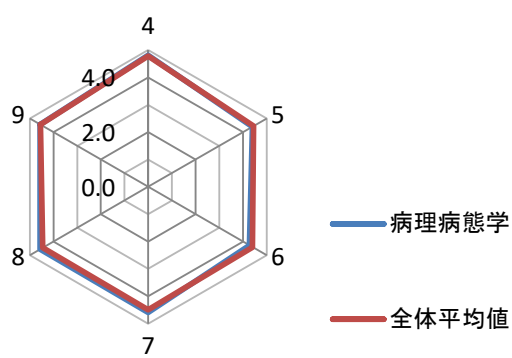
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	病理病態学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.8	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.1	3.8	2.5	4.7

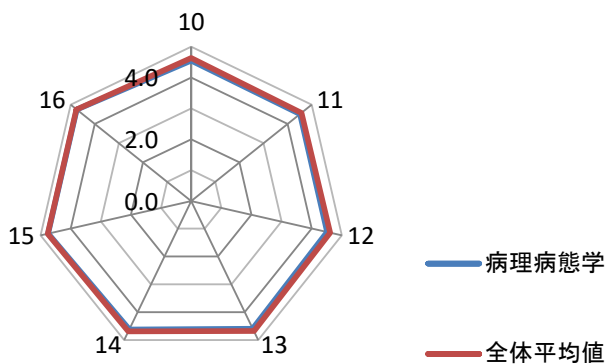
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	病理病態学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.6	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	病理病態学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.5	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.8	4.8	3.9	5.0

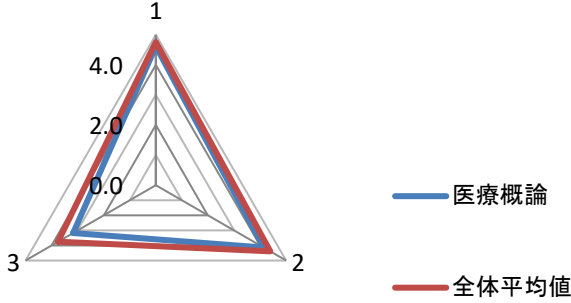
令和2年度第1学年後期「医療概論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
88	29	33%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

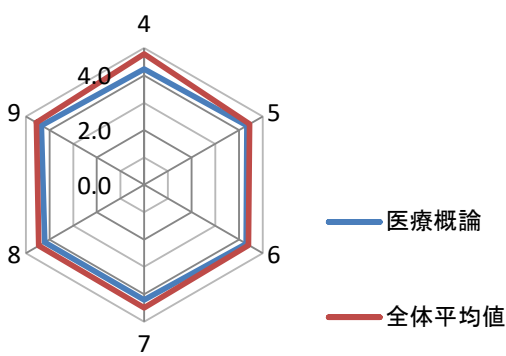
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	医療概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.6	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.2	3.8	2.5	4.7

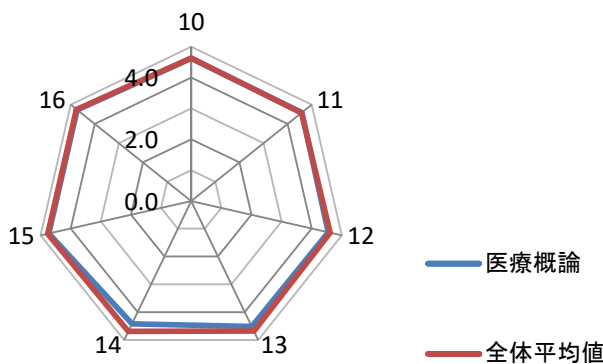
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	医療概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.2	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.3	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.2	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.2	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	医療概論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.6	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.6	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.5	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.4	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	3.9	5.0

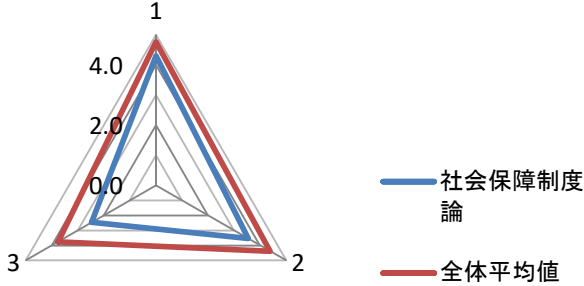
令和2年度第1学年後期「社会保障制度論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	61	71%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

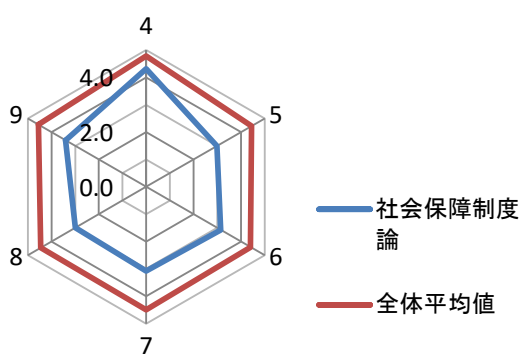
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	社会保障制度論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.3	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	3.5	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	2.5	3.8	2.5	4.7

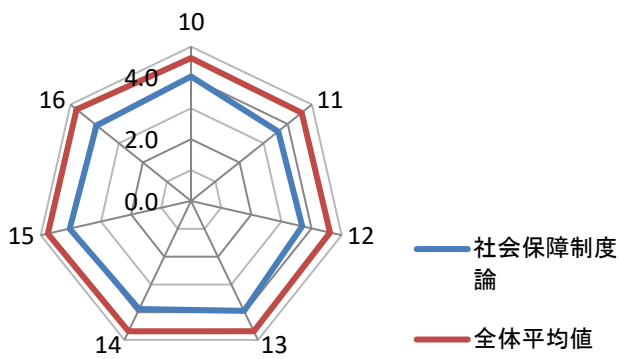
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	社会保障制度論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.3	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.0	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	3.1	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	3.1	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	3.0	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	3.4	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	社会保障制度論	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	3.6	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.7	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.0	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	3.9	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	3.9	4.8	3.9	5.0

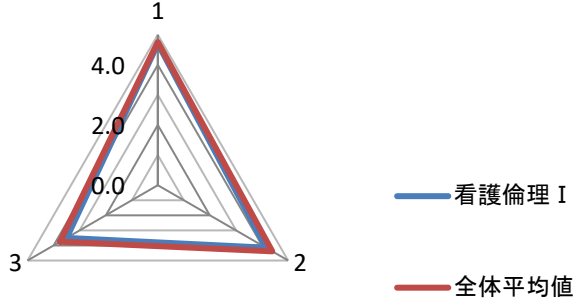
令和2年度第1学年後期「看護倫理 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	54	63%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

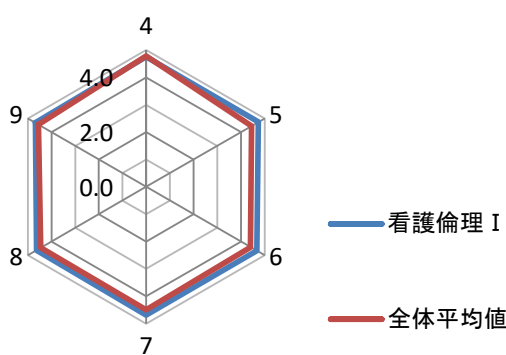
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護倫理 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.8	2.5	4.7

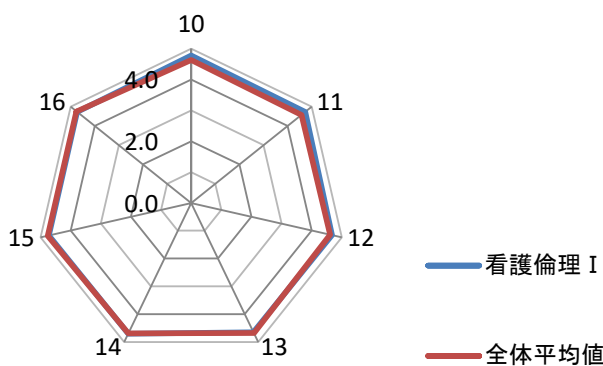
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護倫理 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護倫理 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.7	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	3.9	5.0

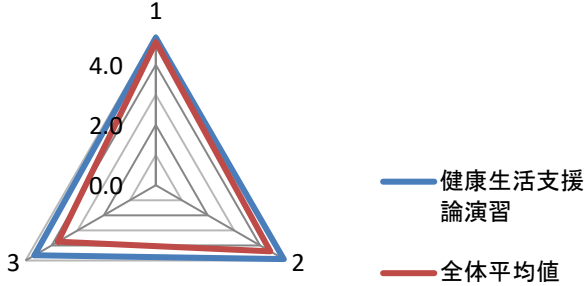
令和2年度第1学年後期「健康生活支援論演習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	32	37%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

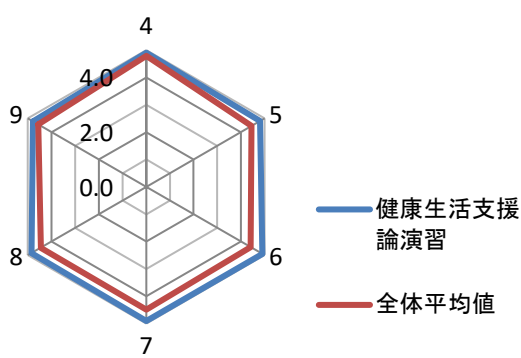
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	健康生活支援論演習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.9	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.9	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	4.7	3.8	2.5	4.7

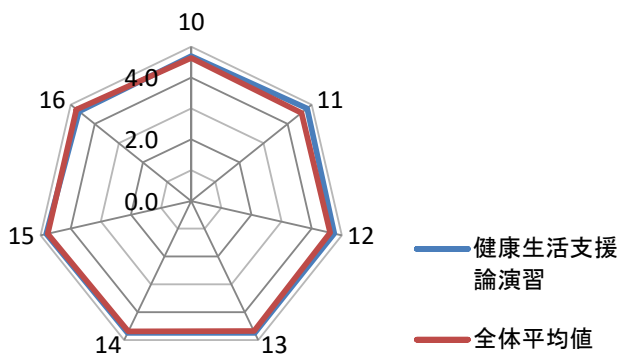
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	健康生活支援論演習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.9	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.9	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.9	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.8	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.8	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	健康生活支援論演習	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.8	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.8	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.8	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	3.9	5.0

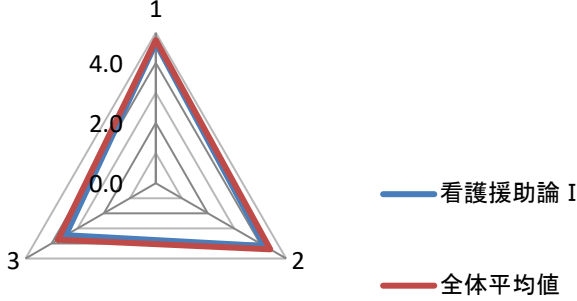
令和2年度第1学年後期「看護援助論 I」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
86	59	69%

実施時期(令和2年5月7日～令和2年8月21日)

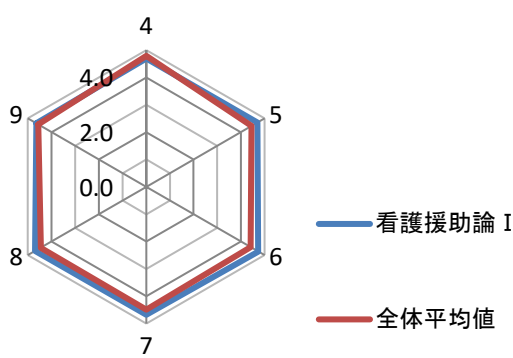
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護援助論 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 シラバスに沿って、積極的に授業に参加した。	4.7	4.8	4.3	5.0
2 シラバスに沿って、予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.4	3.5	5.0
3 教員に授業内容について質問した。	3.5	3.8	2.5	4.7

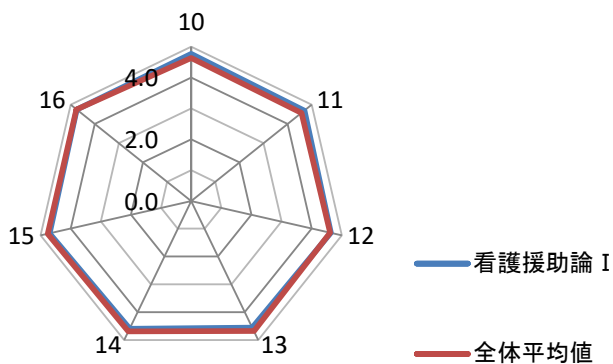
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護援助論 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.8	4.2	5.0
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.7	4.4	3.0	5.0
6 授業の内容はレベルが適当であった。	4.7	4.4	3.0	5.0
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.5	3.0	5.0
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.5	3.0	5.0
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.6	3.4	5.0

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護援助論 I	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.8	4.6	3.0	5.0
11 専門的な知識や技術の修得のために教員から十分な支援があった。	4.7	4.6	3.0	5.0
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.6	4.6	3.7	5.0
13 教員は質問の機会・方法を設定し、質問に適切に回答した。	4.6	4.7	4.0	5.0
14 オンデマンド動画、ライブ型(Zoom)授業および資料などの使い方・内容が適切であった。	4.6	4.7	3.9	5.0
15 授業において、スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.8	4.0	5.0
16 授業において、学生が授業に集中できるように、教員は授業の円滑な進行に配慮していた。	4.7	4.8	3.9	5.0